

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地																					
大原医療介護福祉専門学校大分校		平成26年2月28日	平田 浩司		〒870-0839 大分県大分市金池南1-2-24 (電話) 097-574-6568																					
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地																					
学校法人大原学園		昭和54年4月1日	中川 和久		〒101-0065 東京都千代田区西神田1-2-10 (電話) 03-3291-0151																					
分野	認定課程名	認定学科名			専門士	高度専門士																				
商業実務	商業実務専門課程	医療管理2年制学科			平成27年文部科学省告示第13号	-																				
学科の目的	本学科は教育基本法および学校教育法に基づき、医療機関と連携し、実習を通して医療請求事務に関する高度な知識・技術を習得し、医療事務職に必要な資格を取得することを目的とする。具体的には、医療事務職に必要な患者応対力、診療報酬請求事務、医療関連法規等の知識・技術、およびこれらに付随する関連知識・技術に関する教育を施し、人格の陶冶を行い、医療事務職に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的とする。																									
認定年月日	平成29年2月24日																									
修業年限	昼夜	講義		演習	実習	実験	実技																			
2年	1,860時間	2,640時間		560時間	1,000時間	-	-																			
生徒総定員	生徒定員	留学生数(生徒定員の内)		専任教員数	兼任教員数	総教員数																				
80人	33人	0人		3	3	6																				
学期制度	■1学期:4月1日～8月31日 ■2学期:9月1日～12月31日 ■3学期:1月1日～3月31日			成績評価																						
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏 季:7月下旬～8月下旬までの約4週間 ■冬 季:12月下旬～1月上旬までの約2週間 ■学年末:3月31日			卒業・進級条件																						
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 無断欠席の場合、電話連絡 本人、保護者、担任による三者面談等			課外活動																						
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(平成30年度卒業生) 大分三愛メディカルセンター、メディケアおおつか、長門記念病院、中津脳神経外科病院、鶴見病院、村橋病院、かやしま内科、たなか内科医院、さかき眼科、ヨシムラ薬局、等			主な学修成果(資格・検定等)※3																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診療報酬請求事務能力認定試験(医科)</td> <td>③</td> <td>16人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>医療請求事務検定 1級</td> <td>③</td> <td>23人</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>医療秘書実務検定 1級</td> <td>③</td> <td>23人</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>医師事務作業補助者</td> <td>③</td> <td>8人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>登録販売者</td> <td>③</td> <td>4人</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table>							資格・検定名	種	受験者数	合格者数	診療報酬請求事務能力認定試験(医科)	③	16人	12人	医療請求事務検定 1級	③	23人	23人	医療秘書実務検定 1級	③	23人	23人	医師事務作業補助者	③	8人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																							
診療報酬請求事務能力認定試験(医科)	③	16人	12人																							
医療請求事務検定 1級	③	23人	23人																							
医療秘書実務検定 1級	③	23人	23人																							
医師事務作業補助者	③	8人	8人																							
登録販売者	③	4人	4人																							
中途退学の現状	■中途退学者 1名 平成30年4月1日時点において、在学者33名(平成30年4月1日入学者を含む) 平成31年3月31日時点において、在学者33名(平成31年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任による定期面談(本人および保護者) 担任以外のチーフ、管理職による面談、進路相談(本人および保護者)			■中退率 4.2%																						
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ①試験による特別奨学生制度:がんばる人を支援するために「試験による特別奨学生制度」を実施しています。この制度は、大原独自の特別奨学生試験の結果に応じて入学金・授業料の全額または一部を免除するものです。 ②資格・クラブ活動による特別奨学生制度:がんばる人を支援するために「資格・クラブ活動による特別奨学生制度」を実施しています。この制度は、大原学園入学までに取得した資格や成績を一定のランクに認定し、そのランクに応じて入学金・授業料の全額または一部を免除するものです。 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象																									
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載																									
当該学科のホームページURL	URL: https://oita.o-hara.ac/																									

研修名「指導力修得・向上のための教員研修」(連携企業等・別府大学 キャリア支援センター 副センター長 佐藤 敬子様)

期間:令和元年12月13日(金) 対象:医療管理2年制学科担当職員

内容:教員のコミュニケーション能力の向上を目的とした研修を行う。教員としての役割について学び、コーチングスキル・ティーチングスキルの理解およびその活用方法について学ぶ。ロールプレイを行いながら応対スキルを高めることで学生指導に役立てる。

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賞金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ①卒業生の主な就業先である医療機関の医事課(医療事務職、クラーク職)や看護課(看護助手職)、また、診療報酬改定に造詣の深い企業と連携して教育課程の編成を行うことにより、専門的かつ実践的な知識・技術を修得した即戦力となる人材を育成する。
- ②医療事務分野における学修の中心となる診療報酬請求事務知識、臨床医学知識(体の仕組みや働き、病気の症状、体力の概念やリハビリテーション理論等)、患者対応スキル、医事コンピュータスキル、高齢者対応スキル等の教育内容に関して、教育課程編成委員会を通じて常に業界の最新の情報を反映させる。
- ③上記①、②により編成された授業科目、内容が実践習得されているかどうか、教育課程編成委員による実践的視点で評価を受け、課題を浮き彫りにする事で、教育の質の確保ならびに更なる教育の質向上に活用する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

①位置づけについて

教務部(課)の上位に教育課程編成委員会を設置し、企業等からの提言を参考にして本校の教育課程編成について協議策定するための機関として位置づける。

②意思決定の過程について

(ア)学科の目的に基づき予め学内において現状の課題等を明確にした上で、教育課程編成委員会に提言を求める。

(イ)委員会では企業等からの意見を参考に次年度以降の教育課程編成に関する改善案を策定する。

(ウ)教育課程編成委員に教育現場の責任者である校長、教務部長が参加することで、企業等の委員から提示された課題、改善提案を速やかに次年度以降の教育課程(授業科目、内容、手法)の編成に反映させることができる。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和元年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
高宮 秀朝	社会医療法人 敬和会 大分岡病院 医療事務部長	平成30年4月1日～ 令和2年3月31日(2年)	③
姫嶋 正治	一般社団法人 医療実務研究会 監事	平成30年4月1日～ 令和2年3月31日(2年)	①
平田 浩司	大原学園 大分校 校長	—	学内
青島 徹	大原学園 大分校 教務部長	—	学内
木津 郁	大原学園 大分校 教務次長	—	学内
戸渡 茂	大原学園 大分校 教員	—	学内
小野原 理枝子	大原学園 大分校 教員	—	学内

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(8月、12月)

(開催日時(実績))

第1回 平成30年 8月8日 16:00～17:00

第2回 平成30年12月5日 16:00～17:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
 平成30年度の教育課程編成委員会における委員からの意見の活用状況は以下のとおりに進めている。
 ■「DPC」科目について、教員対象の勉強会実施について
 ・DPC制度の概要と基本的な考え方、コーディングの要点、問題演習の研修を実施した。
 ■医療安全や情報管理に関する教員研修の実施と講義実施形式について
 ・インシデントおよびアクシデントの発生から解決までの一連の経緯を含めた講義を行い、実際にシミュレーションを実施することで教員の指導スキルの向上および学生の教育効果に繋がると意見をいただき、医療機関責任者より直接講話形式にて研修を行い、指導スキルの向上・実践力向上に繋がる教育を実施した。
 ■接遇スキル向上を目指した研修実施について
 ・外部の接遇研修、講習会等に参加し、接遇スキル向上に努めている医療機関もあるが、医療現場全体でみても部署によっては多忙であることから治療優先になってしまい、実際の現場では指導することは難しいとの意見をいただき、カリキュラムとして企画立案・実施までには至っていない。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
 ①各医療機関(総合病院、中小病院、クリニック)、医療関連施設(歯科医院・調剤薬局等)で、実習担当者の指導のもと、実習・現場研修を実施する。また、基本的機能の理解、各医療機関における医事課の役割、患者応対方法の実践を学び、身に付けられるよう、内容等の組み立てを調整する。
 ②医療機関等との連携による実習を通じて学生のより実践的な知識・思考・技術の修得と、社会人としての意識改革、医療従事者としての意識改革を実現する。
 ③医療機関担当者と実習部署、実習内容を検討し、学生の知識・技術の修得状況に対して実践で活かせるレベルか否かを医療機関等の実務の視点から評価を仰ぐ。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容
 ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
 医療機関等に病院実習受け入れ依頼を行い、病院実習受け入れ承諾書を頂戴するとともに、打合せを行い、下記の4点について連携している。
 ① 医事課担当者と打ち合わせを行い、実習日程、実習内容、到達目標、評価指標等を調整・決定
 ② 医療機関内の各施設、各部署の見学、実習の実施
 ③ 学生の実習状況の確認及び医事課担当者との情報交換のため、担当教員による訪問
 ④ 実習終了時の学生の学修成果の評価

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
病院実習Ⅰ	受付業務、案内業務、患者対応、その他の実習を通じて医療現場で働くとはどういうことかを理解し、院内の仕事の分担と役割について学ぶ。	大分中村病院・大分こども病院・塚川第一病院・佐伯中央病院・コスモス病院等 総数:10病院
病院実習Ⅱ	現場での実習を通して、医療事務と他部署との連携を理解し、実践することを目的とする。他専門職との関わりを学び、場面に適した言動、行動を実践を通して身に付ける。	大分三愛メディカルセンター・佐賀関病院・鶴見病院・玄々堂高田病院・長門記念病院等 総数:14病院
薬局実習Ⅱ	現場での実習を通して、薬局事務と薬剤師との連携を理解することを目的とする。他専門職との関わりを実践を通して身に付ける。	安東調剤薬局・タカサキ薬局

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記
 専門的かつ実践的な知識・技能を有し即戦力となる人材を育成するためには、教員一人ひとりが常に実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけなければならない。「大原学園教職員研修規定」の目的に定めるとおり、教職員が専門分野に関する知識・技能・企画力・判断力等を高めるために、教員研修の環境を整える。研修については、校内・校外において計画的に行っており、教育責任者の指示又は本人の意思により、公平に受講する機会を与えている。なお、校内、校外において学園が企画する研修は下記のとおり。
 ①企業・団体・学術機関等の講師を招いた知識・指導スキル研修(校内研修)
 ②教育本部・講座本部が主催する知識技能、指導力の向上のための研修(校内研修)
 ③学内に設置する附帯教育講座を利用しての自己啓発(校内研修)
 ④企業、団体等が開催している研修・講義等への参加(校外研修)

<p>(2) 研修等の実績</p> <p>① 専攻分野における実務に関する研修等</p> <p>研修名「公的医療保険制度の現状と生活習慣病のリスク」(連携企業等:住友生命)</p> <p>期間:平成30年6月16日(土) 対象:医療管理2年制学科担当職員</p> <p>内容:医療保険を選ぶポイント、公的医療制度の現状と生活習慣病のリスク、がん登録者数および先進医療の概要についても学び各現状を理解することで、講義へ反映するための知識力の向上を図ることができた。</p>
<p>研修名「平成30年度診療報酬改定について」(連携企業等:さいたま赤十字病院 医事課入院係長 内田幸一)</p> <p>期間:平成30年7月30日(月) 対象:医療管理2年制学科担当職員</p> <p>内容:診療報酬改定の概要・全体改定率に関する概要・重点課題と対応、過去の経緯・改定における現場への影響・今後の動向、改定の方向性を学び、講義へ反映するための知識力の向上を図ることができた。</p>
<p>② 指導力の修得・向上のための研修等</p> <p>研修名「指導力習得・向上のための教員研修」(連携企業等:別府大学キャリア支援センター 副センター長 佐藤 敬子氏)</p> <p>期間:平成30年8月10日(金) 対象:医療管理2年制学科担当職員</p> <p>内容:ファシリテーターとしての教員の本質的役割について理解し、コーチングスキル・ティーチングスキルの理解およびその活用方法について学び、学生指導に役立てる。</p>
<p>(3) 研修等の計画</p> <p>① 専攻分野における実務に関する研修等</p> <p>研修名「保険診療のしくみ」(連携企業等:一般社団法人医療実務研究会)</p> <p>期間:令和元年7月26日(金) 対象:医療管理2年制学科担当職員</p> <p>内容:医療保険のしくみや法律などについて理解し、各種検定試験の内容も含まれているため医療現場の実情の把握と併せて、検定対策前に教材以外で事前に検定対策内容を学ぶ研修。</p>
<p>研修名「2019年10月改訂におけるポイント」(連携企業等:日本医療報酬調査会 理事長 水口錠二氏)</p> <p>期間:令和元年8月26日(月) 対象:医療管理2年制学科担当職員</p> <p>内容:2019年10月改訂におけるポイント解説、実務で使用されるカルテ・レセプト紹介及び解説を理解するための研修。また、過去に医科対策等で使用していない初見問題を実際に解き、解く際の手組み方や方法を体験し、検証・分析を行い学生指導に繋げる。</p>
<p>② 指導力の修得・向上のための研修等</p> <p>研修名「指導力修得・向上のための教員研修」(連携企業等:別府大学 キャリア支援センター 副センター長 佐藤 敬子様)</p> <p>期間:令和元年12月13日(金) 対象:医療管理2年制学科担当職員</p> <p>内容:教員のコミュニケーション能力の向上を目的とした研修を行う。教員としての役割について学び、コーチングスキル・ティーチングスキルの理解およびその活用方法について学ぶ。ロールプレイを行いながら対応スキルを高めることで学生指導に役立てる。</p>

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

当学園の教育理念は、学生に対して資格取得教育、実務教育を施し、人格の陶冶を行いもって有為な産業人を育成することである。この教育理念に基づき実践的な教育が実現出来ているか、また、その教育を実現するために必要な環境が整っているかについて、学校関係者評価委員を設置して下記に示す評価項目から評価する。課題の残る評価結果については、課長職以上の管理職より改善計画を策定し、次年度以降の学校運営に反映させ改善を図る。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	①理念・目的・育成人物像は定められているか。 ②学校の特色はなにか。 ③学校の将来構想を抱いているか。
(2) 学校運営	①運営方針は定められているか。 ②事業計画は定められているか。 ③運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか。 ④人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか。 ⑤意思決定システムは確立されているか。 ⑥情報システム化等による業務の効率化が図られているか。
(3) 教育活動	①各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向づけられているか。 ②修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか。 ③カリキュラムは体系的に編成されているか。 ④学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか。 ⑤キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか。 ⑥授業評価の実施・評価体制はあるか。 ⑦育成目標に向け授業を行う事ができる要件を整えた教員を確保しているか。 ⑧成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。 ⑨資格取得の指導体制はあるか。
(4) 学修成果	①就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか。 ②資格取得率の向上が図られているか。 ③退学率の低減が図られているか。 ④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。
(5) 学生支援	①就職に対する体制は整備されているか。 ②学生相談に関する体制は整備されているか。 ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。 ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか。 ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか。 ⑥学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか。 ⑦保護者と適切に連携しているか。 ⑧卒業生への支援体制はあるか。
(6) 教育環境	①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。 ②学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。 ③防災に対する体制は整備されているか。
(7) 学生の受入れ募集	①学生募集活動は、適正に行われているか。 ②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。 ③入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか。 ④学納金は妥当なものとなっているか。
(8) 財務	①中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか。 ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。 ③財務について会計監査が適正に行われているか。 ④財務情報公開の体制整備はできているか。

(9) 法令等の遵守	①法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。 ②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。 ③自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。 ④自己点検・自己評価結果の公開はしているか。
(10) 社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか。 ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況
「医療機関入職後2～3年後を見据えた学生のスキル研鑽やコミュニケーション能力が身につくような指導が必要」及び「教職員の能力向上のための研修参加の継続」についてご意見を頂いたため、次年度は、基本的なマニュアル以外にも応用的な事例を紹介しながら学生指導を行う。また、教職員の能力開発のための研修に積極的に継続して参加していく事を検討する。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和元年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
高宮 秀朝	社会医療法人 敬和会 大分岡病院 医療事務部長	平成30年4月1日～ 令和2年3月31日(2年)	企業等委員
姫嶋 正治	一般社団法人 医療実務研究会 監事	平成30年4月1日～ 令和2年3月31日(2年)	業界団体 関係者
岩崎 和恵	社会福祉法人 一燈園 経営企画室 業務部長	平成30年4月1日～ 令和2年3月31日(2年)	企業等委員
大場 喜弘	一般社団法人 大分県介護福祉士会 副会長	平成30年4月1日～ 令和2年3月31日(2年)	業界団体 関係者
成松 洋子	社会医療法人財団 天心堂 介護老人保健施設 陽光苑 参与	平成30年4月1日～ 令和2年3月31日(2年)	企業等委員
佐藤 麻由	医療法人メディケアアライアンス あおぞら病院	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	卒業生
島ノ江 良太	JR九州シニアライフサポート株式会社 SJR大分	平成30年4月1日～ 令和2年3月31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL:<http://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/>

公表時期: 令和元年9月30日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

①実践的な職業教育における成果を広く周知することにより、入学希望者の適切な学習機会選択に資すること。そのために、学校関係者評価結果も含めて教育活動の状況や課題など学校全体に関する情報を分かりやすく示すこと。

②また、上記①により企業等との連携による教育活動改善を活発にし、社会全体の信頼に繋げていくこと。

③情報の公表を通じて、学校の教育の質の確保と向上を図ることを目的とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	①概要 ②教育方針 ③沿革
(2) 各学科等の教育	①入学定員 ②受入方針 ③カリキュラム ④進級、卒業要件等 ⑤専門士の称号付与 ⑥目標とする国家試験、検定試験等 ⑦主たる国家試験、検定試験等の合格実績 ⑧卒業生の進路
(3) 教職員	①教職員数 ②教職員の専門性
(4) キャリア教育・実践的職業教育	①キャリア教育 ②実習・実技等 ③就職支援等
(5) 様々な教育活動・教育環境	①学校行事 ②課外活動
(6) 学生の生活支援	①完全担任制 ②就職教育
(7) 学生納付金・修学支援	①学生納付金 ②奨学金、学費減免等
(8) 学校の財務	学校の財務状況公開
(9) 学校評価	学校関係者評価結果
(10) 国際連携の状況	—
(11) その他	—

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL:<http://www.o-hara.ac.jp/about/jissen/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程医療管理2年制学科) 令和元年度														
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			総合演習Ⅱ (漢字)	日常的に利用する漢字能力を身に付けることを目的とする。ビジネスで一般に使用される熟語は勿論のこと四字熟語、慣用句なども学ぶ。	1 ② 2 ①	40 ・ 40		○		○	○			
○			総合演習Ⅲ (計算技能)	電卓技能の向上を目的とする。企業内でも多く活用されている電卓のスピード、正確性を高める実技練習を行う。	1 ② 2 ②	60 ・ 60			○	○	○			
○			総合演習Ⅳ (ビジネス行動論)	基本的なビジネスマナーを身に付けることを目的とする。企業人として最低限、身に付けていなければならない立ち居振る舞いなどのトレーニングを行う。	1 ① 2 ②	40 ・ 40		○		○	○			
○			総合演習Ⅹ (ビジネス文書実務)	PC操作の基本操作を身に付けPCを用いた文書作成の基礎を学ぶことを目的とする。校内のPCを利用し実践的なトレーニングを実施する。	1 ① 2 ②	30 ・ 30		○		○	○			
○			総合演習Ⅹ Ⅰ(官庁・企業研究)	就職活動における企業の研究方法の習得を目的とする。研究方法及びプレゼンテーションの方法の基礎を学ぶ。	1 ③ 2 ②	40 ・ 40			○	○	○			
○			総合演習Ⅹ Ⅲ(特別活動)	行事を通じ、集団での運営方法の習得を目的とする。企画・運営を実践し、集団行動に対する理解を深める。	1 ② 2 ②	20 ・ 20			○	○	○			
○			適性検査演習	就職活動に向けた適性検査能力の向上を目的とする。演習により、適性検査の手順、解答方法を学ぶ。	1 ③ 2 ②	40 ・ 40			○	○	○			
○			一般教養	就職活動に向けた一般教養力の向上及び定着を目的とする。基礎的な学力(国語、数学、社会)の演習、解答方法を学ぶ。	1 ③ 2 ②	40 ・ 40			○	○	○			
○			医療請求事務Ⅰ	診療報酬における請求事務を理解することを目的とする。診療録(カルテ)から明細書(レセプト)を作成するための基礎的な知識として外来会計を学ぶ。	1 ①	60		○		○	○			
○			医療請求事務Ⅱ	診療報酬における請求事務を理解することを目的とする。診療録(カルテ)から明細書(レセプト)を作成するための応用的な知識として入院会計を学ぶ。	1 ②	60		○		○	○			
○			医療秘書	病院内での秘書業務として、スケジュール管理、書類作成、受付会計業務における患者対応方法などを学ぶ。	1 ①	30		○		○	○			

		○	医事コンピュータ・電子カルテ実習	医事コンピュータの基礎的な操作方法習得を目的とする。診療録（カルテ）から明細書（レセプト）を医事コンピュータを使用して作成するトレーニングを行う。	2 ②	40					○	○	○			
		○	医療用語Ⅱ	院内用語の習得を目的として、医療業界・医療機関・医療関係のニュース等に関するキーワードの理解を深めていく。	2 ②	20				○		○	○			
		○	医療保障	日本の医療保障制度を理解することを目的とする。医療保障制度、社会保障制度についての概念、概要、法規等を学ぶ。	2 ②	20				○		○	○			
		○	患者コミュニケーション概論	患者とのコミュニケーションの取り方、応対方法を理解することを目的とする。患者の各タイプの特徴、判断のポイントを学ぶ。	2 ②	20				○		○	○			
		○	臨床医学の基礎知識	臨床において系統ごとに機能・主な疾病・検査・治療について基本的な事柄を理解するとともに、基本的な医療用語を理解し使えるようにする。	2 ②	20				○		○	○			
		○	DPC	DPC制度について理解し、包括評価に基づいて計算される仕組みや算定方法について学ぶ。	2 ②	20				○		○	○			
		○	医師事務作業補助	医師事務作業補助業務の従事者として必要な医学・薬学、医療に関する法律・法令等の知識を理解することを目的とする。	2 ①	80				○		○		○		
		○	医師事務作業補助技能	医師事務作業補助業務の従事者として必要な医療文書の作成として、各種診断書・証明書・申請書を作成する技術を習得する。	2 ①	80				○		○		○		
		○	調剤報酬請求事務Ⅰ・Ⅱ	薬局における請求事務を理解することを目的とする。処方せんから明細書（レセプト）を作成するための基礎的な知識を学ぶ。	2 ①	80				○		○	○			
		○	歯科医療請求事務	歯科検定合格レベルの明細書（レセプト）作成技術の習得を目的とする。様々なケースの問題演習を通し、診療録（カルテ）から明細書を作成する技術を習得する。	2 ①	80				○		○		○		
		○	歯科助手技術	歯科助手の初歩的な秘書的業務の理解と基本的な知識を身に付けることを目的とする。様々なケースの問題演習を通し、診療録（カルテ）から明細書を作成する技術を習得する。	2 ①	80				○		○		○		
		○	介護福祉士実務者研修	介護における尊厳の保持・自立支援、介護・福祉サービスの理解と医療との連携、老化、認知症の理解について、講義と演習を一体とした形式で学ぶ。	2 ②	450				○		○		○		
		○	簿記原理	簿記の基本原理の理解を目的とする。個人商店を前提とした複式簿記の基本原理を学ぶことで簿記の基本原理を理解させる。	2 ①	80				○		○	○			
		○	簿記通論	個人商店を前提とした会計処理方法の習得を目的とする。一般的な商取引に対する会計処理、簿記の基礎にある初歩的な会計理論を学ぶ。	2 ①	80				○		○	○			

